

# 地域振興グループ

地域振興グループの質問を始めます。

私たちのグループは、中山間地域の住みやすい街づくりや広島の立地などを生かしたイベントを増やす取組について話し合いました。

このことについて、2つの質問をしたいと思います。

## 質問1 「中山間地域の住みやすい街づくり」について

一つ目の質問は、「中山間地域の住みやすい街づくり」についてです。広島県の中山間地域の面積は約73%です。しかし、その人口は約13.7%となっています。例えば、令和2年の府中町の人口密度は1平方キロメートルあたり4,914人であるのに対し、安芸太田町は1平方キロメートルあたり16.8人であり、その差が約292倍となっています。都市部と比べて中山間地域の人口密度がかなり低くなっています。

その理由として、中山間地域は働く場所や移動手段が少なく、生活する上で利便性が良くないことがあるではないでしょうか。また、それによって人々が利便性の良い都市部に流れ込んでいき、さらに格差が広がるという悪循環が起こっているように感じます。このような中山間地域と都市部の格差が少しでも縮まるように、中山間地域が住みやすい環境になってほしいと思います。

そこで、1つ目の提案です。IT企業や半導体工場など、人々を呼び込める起爆剤となるものを誘致してはどうでしょうか。そうすることで、中山間地域の働く場所が増え、人口の増加が期待できると思います。

ただ働く場所を増やしただけでは不十分であり、人々が中山間地域に残ってくれるように、住みやすい環境にする必要があると思います。

そこで、2つ目の提案です。中山間地域に住む人たちが将来にわたって暮らし続けることができるように、環境を整備してはどうでしょうか。例えば、公共交通や商店など生活を支えるサービスが考えられます。環境整備により、そこに元々住む人が留まるだけでなく、移住する人が増える可能性もあると思います。また、私たちにも中

山間地域に目を向け、魅力をPRすることなどできることはあります。県が一丸となり取り組むことで、よりよい広島県になると思います。

#### 答弁（知事）

まず、「中山間地域に人々を呼び込む企業や工場などの誘致」についてお答えします。

広島県の産業を活性化するとともに魅力的な働く場を確保するため、デジタル系を中心とした企業誘致のほか、産業団地などへの工場の誘致や、県内企業の生産性向上を後押しする設備投資への支援などに取り組んでいます。

特に中山間地域においては企業への補助金の額を増やしたり補助金を受け取るための条件を緩やかにするなど、積極的な誘致を行っています。

こうした中、デジタル系を中心とした企業誘致については、これまでに約30社が中山間地域に進出し、古民家を活用したオフィスを設置するなど、着実に成果につながっています。

今後も、中山間地域に1社でも多くの企業を誘致し、こうした企業へのサポートを継続することで、魅力的な働く場を確保していきます。

次に、「将来にわたって暮らし続けられる環境の整備」についてお答えします。

中山間地域に住む人たちが将来にわたって心豊かに、笑顔で幸せに暮らし続けるためには、御提案の移動の確保や、商店など生活を支えるサービスの維持は、広島県においても重要な要素と考えており、こうした生活環境を整備する施策に、市町と連携して取り組んでいます。

具体的には、

- ・ 日常利用する路線バスの運行費の補助や、
- ・ 地域の方がどのように移動しているか把握し、それに合わせた公共交通の仕組みづくりに対する支援

など、移動手段の確保に向けた市町の取組を支援しています。

また、生活を支えるサービスの維持に向けては、自治会が民間事業者等と連携して商店を運営するなど、新たな仕組みの構築に向けて取り組んでいます。

引き続き、中山間地域の生活環境の整備に向けて、様々な取組を行ってまいりますので、皆さんも、是非とも、中山間地域の豊かな自然や歴史、文化など、その魅力を多くの方々に発信していただきたいと思ひます。

## 質問2 「広島立地などを生かしたイベントを増やす取組」について

二つ目の質問は、「広島立地などを生かしたイベントを増やす取組について」です。2023年に県内で公演されたコンサートなどの回数は721回で、福岡県の半分以下、宮城県の6割というニュースを見ました。普段から、私たちが来てほしいアーティストやアイドル、アニメキャラクターが広島に来なかったり、参加したいイベントが近くで開催されていないと感じていましたが、このニュースで、県内で開催されるコンサートなどの回数が少ないことを知りました。

また、広島市と人口などの規模が類似する仙台市では、アリーナでのコンサート以外にも、街中コンサートがあるなど、イベント開催が積極的に行われていると思ひました。山口県では大きな公園を利用して大規模な音楽フェスが開催されたり、大阪では既にある施設を有効利用した体験型のイベント、例えば謎解きゲームなどが実施されていますが、県内ではこういったイベントも開催していないように思ひます。

そこで、1つ目の提案です。広島市の都心にある場所を活用して、人が集まってイベントが開催できるようにしてはどうでしょうか。例えば、まちなかの空きスペースや建物の屋上などに会場をつくって音楽フェスを開催すれば、県内外からたくさんの方が訪れて楽しむことができると思ひます。

しかし、他にも、観光名所など、自然や地域の魅力を体験できるような場所でイベントの開催することも可能ではないかと思ひます。

そこで、2つ目の提案です。「ひろしま」のブランディングを意識したイベント開催場所を国内外のアーティストやイベント主催者などにPRしてはどうでしょうか。例えば、2つの世界遺産や瀬戸内の多島美などは、海外からも注目されていると思ひます。「ひろしま」をイベントやコンサートの開催場所として選んでもらえれば、多くの人に「ひろしま」を訪れてもらうことができ、「ひろしま」のたくさんの魅力を知ってもらうことができると思ひます。

## 答弁（地域政策局長）

まず、「広島之都心にある場所を活用したイベント開催」について、お答えします。

広島市都心については、広島市とともに、都心の大きなまちづくりの方向性を示した「ひろしま都心活性化プラン」を策定し、「国内外から人を惹きつけ、世界に広島を発信する、誰もが集える賑わいと交流のまち広島」の実現を目指し、様々な取組を行っているところです。

御提案のあったイベントに関しては、昨年3月に開業した「ひろしまゲートパーク」において、グルメイベントや季節に合わせたイベントなど、様々なイベントが、昨年度は250日以上開催され、また、来月には、ジャズの音楽フェスティバルが予定されているなど、広島の新たなにぎわいの拠点となっています。

その北側には、先月、新たに「ひろしまスタジアムパーク」が開業し、ここでも、今後様々なイベントが開催されることになっています。

また、都心の多くのエリアにおいて、多様な関係者が集まり、まちづくり団体が設立され、地域の特徴に応じた活動が行われています。

具体的には、

- ・アリスガーデンでのまちなかライブや、
- ・京橋川や猿猴川の川辺を使ったマルシェの開催、
- ・基町環境護岸での焚火体験やSUP体験、
- ・商業施設のスペースなどを活用したアート作品の展示など、

年間を通じて、様々なイベントを開催するほか、都心を楽しみながら歩いてもらうために、複数のまちづくり団体が連携した取組も行っています。

今後も広島市都心で楽しい様々なイベントが開催されますので、皆さんも、是非、参加してみてください。

次に、「ひろしま」のブランディングを意識したイベントについては、本県が開催場所として選ばれるためには、他地域にはない特色などを打ち出していく必要があると考えています。

こうした中、本県では、“ENERGY OF PEACE ひろしま”というシンボルマークを掲げ、元気があふれ、美味しい食の宝庫でもあり、世界に誇れる暮らしやすい場所であることなど、本県の魅力を発信しています。

また、本県でのイベントにおいて、広島ならではの特別感が演出できるよう、県内各市町などと連携し、「歴史的建造物」「神社仏閣」「屋外空間」などでイベントを開催する場所として、現在、広島城、竹原や大崎下島の町並み保存地区など20箇所を選定しているところです。

今後とも、こうした取組を積極的に進めることにより、多くのアーティストや主催者からイベントなどの開催場所として選ばれるよう努めていきます。